

学校法人名古屋自由学院 中期計画（2020年～2024年） 名芸 ステップ・アップ プラン24（MSP24）～輝く法人創立70周年に向けて～

建学の精神「至誠奉仕」 ミッション：選ばれ続け信頼される学院づくり～融合と再編の進化
 ビジョン：名古屋自由学院の将来ビジョン～「ゲイジュツのちから」で社会にコミットできる人材の育成

基本方針	経営の安定	教育の質の保証	組織活性化と自立型人材育成の推進	ブランド力の向上
基本目標	健全で安定した財務基盤を構築するために、学納金等の収入を確保するとともに人件費等の経費削減を確実に実現する。18歳人口に依存しない入学生ルートの開拓等の入学生ルートの多様化を迅速に取り組む。学院の喫緊の課題に迅速に対応する経営体質の構築を図るとともに理事をはじめとする経営陣の意識改革を図る。	高等教育の変化を先取りするソフト面の充実とキャンパス整備をはじめ、教育環境のハード面を向上させる。教学マネジメントを確立し、本学独自の「教育の質保証」と学修者本位の教育を実現する。「社会実践で役立つ総合的なスキルを持つアーティスト人材の育成」を掲げ、学生データの一元化と戦略的活用をシステム化する。これにより、入口から出口までの教育サービスを可視化する。	業務の高度化及び多様化に対応し、学生の期待に応える教職員の能力開発を推進する。事務組織の業務効率化、生産性向上、組織間の壁を取り払うためにゼロベースでの組織改編を実現する。成果主義に基づく人事・賃金制度の定着化を図り、人事機能の強化と生産性の高い組織を実現する。	本学院のブランド力を高め、社会的認知度の向上と志願者数の安定的確保を実現する。地域社会や経済界等とのニーズに応え、高い成果を実現するための連携に取り組む。また、「アートの潮流は地域との交流」をコンセプトにアウトリーチ、アートマネジメントを全学的に展開する。セールスポイントの明確化とUI＝ユニバーシティ・アイデンティティの確立を図る。
行動計画	1.2024年度認証評価受審体制の構築。 2.保育専門学校の閉鎖と跡地の有効活用。 3.寄附金額の同規模大学平均値の達成。 4.単年度収支均衡(赤字解消)2020年、単年度収支1億円2024年。 5.財務シミュレーションの活用によるコスト意識の徹底。 6.会計経理業務の外注化。 7.リカレント教育、留学生交流等による多様な学生の確保。	1.大学院の再編と学部-大学院連結教育の導入。 2.領域-学部横断型カリキュラムの充実。 3.学修の振返りを深め、成果の定着化を推進するためにeポートフォリオを整備、導入する。 4.中途退学予防策の徹底。 5.教員採用試験合格率の向上。 6.カリキュラムマップ、カリキュラムツリーの充実。 7.学生の目標設定と学修成果の可視化。	1.学内業務のIT化の推進により、組織横断的に業務の効率化と簡素化を実現する。 2.組織改編による機能・分野横断的業務の構築。 3.IRシステムの構築と活用による迅速な改善活動の展開。 4.戦略的人事機能の強化。 5.勤怠管理、教職員データのIT化。 6.教職員リクルート力の整備と強化。 7.事務センターの設置と運用。	1.学院のリソースを活用した社会貢献事業の展開。 2.「私立大学研究ブランディング事業」採択への取組。 3.法人創立70周年事業実施。 4.卒業生との関係強化に戦略的に取り組む。 5.学食、トイレの改修によるイメージ向上。 6.社会人用プログラムの開発と「人生100年時代」における生涯学習機会の提供。
KPI 2020(2024)	事業活動収支差額比率 経常収支差額比率 教育活動収支差額比率 収容定員充足率 入学定員充足率 人件費率 運用資産余裕比率 寄附金額	学生満足度 授業評価 授業外学修時間 DP達成度 受入・派遣留学生数 海外交換留学協定校数 ラーニング・コモンズ活用度 教育成果の可視化度合 大企業就職者数 アクティブラーニング導入授業数 退学率	SD研修延参加者数 競争的資金(科研費等)の申請数 競争的資金(科研費等)の採択率 教職協働プロジェクト数 産官学共同研究件数 教職員満足度	志願者数 志願者倍率 入試難易度 高大接続プログラム件数 志願度・人気度 HPアクセス数 年間プレスリリース数のメディア掲載率 オープンキャンパス参加者数

※KPI Key Performance Indicator重要業績評価指標＝達成しなければならない中間目標